

令和4年度流域治水のフォローアップについて

令和5年3月30日（木）

西都・児湯地区流域治水協議会
西都・児湯地区水防災意識社会再構築協議会

一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト:令和4年度フォローアップ
ロードマップ(令和4年度時点)

様式1

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河川改修・河道掘削・堤防補強・橋梁架替等		
	土砂災害対策	宮崎県	砂防堰堤の整備等		
	流水の貯留機能の拡大	宮崎県、企業局、九州電力	利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		
	森林の整備・保全、治山施設の整備	西都児湯森林管理署、宮崎県、西米良村、森林整備センター	森林整備・保全(造林・間伐・下刈り等)による土砂流出抑制、保水力の強化等		
		西都児湯森林管理署、宮崎県	治山ダム、山腹工等による土砂流出防止等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県、西都市、新富町	ほ場整備の推進		
		宮崎県、西都市	農業用ため池の整備・改修等		
宮崎県、宮崎市、新富町		排水機場の更新等			
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	宮崎市	立地適正化計画の検討・展開(災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外)		
			独自の「防災対策推進区域」を設定し、防災・減災対策の推進や災害のリスクを周知		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供等	32,33	議水防 会の災 意取 組 方 社 計 と 再 構 築 係 協
		新富町	避難訓練等	10	
	土地のリスク情報の充実・提供	宮崎県	洪水浸水想定区域図の作成・データ提供等	19	
		宮崎県、宮崎市、西都市、新富町、西米良村	洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布による啓発	20	
		宮崎県、西都市	農業用ため池ハザードマップの公表・周知	19,20	
		西米良村	IP告知端末の整備と個別通知機能拡	51	
		宮崎県	テレビ、ラジオ、ポスターによる啓発(防災の日、防災週間)	2	
防災学習の推進	宮崎県	防災士養成研修や出前講座	17		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)		
			河川景観の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、宮崎市、西都市、新富町、西米良村、西都児湯森林管理署	湿地等の貴重な自然環境の保全		
			生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、宮崎市、西都市、新富町、西米良村	水辺空間のレジャー等の利用		
		小中学生や任意団体等による環境学習			

フォローアップ:取組状況確認一覧

R4 取組状況	宮崎県		宮崎市		西都市		西米良村		新富町		西都児湯森林管理署		森林整備センター		九州農政局		宮崎地方気象台		九州電力		
	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	進捗	R4 取組状況	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	継続	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	継続	●	継続	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	●	継続	—	—	—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	●	継続	—	—	—	—	—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	●	継続	●	継続	●	継続	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	×	継続	×	未実施	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	×	継続	×	未実施	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	×	継続	×	未実施	×	未実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
●	継続	—	—	×	継続	×	未実施	●	継続	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
進捗	17	8	8	1	1	2	2	0	0	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	1	1
対象 (取組率)	17 (100%)	8 (100.0%)	8 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	—	—	2 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	1 (100.0%)	1 (100.0%)	—	—	—	—	1 (100.0%)	1 (100.0%)
進捗	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象 (取組率)	2 (100%)	—	—	2 (100.0%)	2 (100.0%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
進捗	193	39	39	45	45	39	50	5	5	41	41	0	0	0	0	0	0	13	13	0	0
対象 (取組率)	254 (76%)	39 (100.0%)	39 (100.0%)	51 (88.2%)	51 (88.2%)	50 (100.0%)	50 (100.0%)	50 (10.0%)	50 (10.0%)	51 (80.4%)	51 (80.4%)	—	—	—	—	—	—	13 (100.0%)	13 (100.0%)	—	—
進捗	14	7	7	0	0	0	4	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
対象 (取組率)	25 (56%)	7 (100.0%)	7 (100.0%)	4 (0.0%)	4 (0.0%)	4 (100.0%)	4 (100.0%)	4 (0.0%)	4 (0.0%)	4 (75.0%)	4 (75.0%)	2 (0.0%)	2 (0.0%)	—	—	—	—	—	—	—	—

令和4年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 西都土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削、堤防補強

【概要】

洪水氾濫対策として、河川内の樹木伐採・河道掘削工事、堤防補強工事を行い、河川断面確保等により治水安全度の向上を図る。

【令和4年度 河道掘削 河川一覧】

- ・一ツ瀬川（瀬口橋上流付近）
- ・三財川（霧島橋・囿橋付近）
- ・三納川（平郡橋）
- ・南川（原田橋付近）
- ・瀬江川（一ツ瀬川合流付近）

【令和4年度 堤防補強 河川一覧】

- ・一ツ瀬川（下水流橋上流付近）

(河道掘削前：三財川)



(河道掘削後：三財川)



宮崎県 西都土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	自然環境が有する多様な機能活用の取組
	【小項目】対策メニュー	小中学生や任意団体等による環境学習



小学生と協働で水辺の水生生物や水質について調査を実施



- 5月 12日
新型コロナウイルスの影響で中止
- 第1回 6月 29日
- 第2回 10月 13日
- 第3回 12月 16日

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 高鍋土木事務所	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削、樹木伐採

【概要】

- 土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないように、河道掘削や樹木伐採と実施した。
- 次年度以降も、他河川を含め5ヶ年加速化対策において引き続き実施していく。

R 4 年度 実績			
実施河川数	3河川	樹木伐採	6,837m ²
事業費	3,100万円	河道掘削	2,632m ³

都農町 上町川 河道掘削、樹木伐採



宮崎県 高鍋土木事務所	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習の推進
	【小項目】対策メニュー	土砂災害出前講座

【概要】

- 土砂災害の危険から身を守るため、小学校の総合学習で防災に関する出前講座を実施した。
- 次年度以降も、小学校と連携し防災意識向上のための出前講座を継続する。

R 4 年度 実績				
実施年月日	R4.6.17	川南町山本小学校	5・6年生	24名



令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎県 高鍋土木事務所	【大項目】区分	4. グリーンインフラ
	【中項目】対策内容	自然環境の保全・復元などの自然再生
	【小項目】対策メニュー	生物の多様な生息、育成、繁殖環境の保全・創出

【概要】

- 河道掘削により洪水氾濫軽減と共に、自然環境に配慮した掘削工事を実施した。
- 河川本来の滯筋を保全（蛇行させ）し、瀬と淵を確保した。
- 水際や深瀬に玉石を配置し、水生生物の住み家並びに洗掘を防止した。



滯筋を蛇行させ、瀬と淵を確保
飛び石を配置し、流れに変化をつけた

水際に玉石を配置し、水生生物の住み家を確保
深瀬に玉石を配置した洗掘防止対策

宮崎県 高鍋土木事務所	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

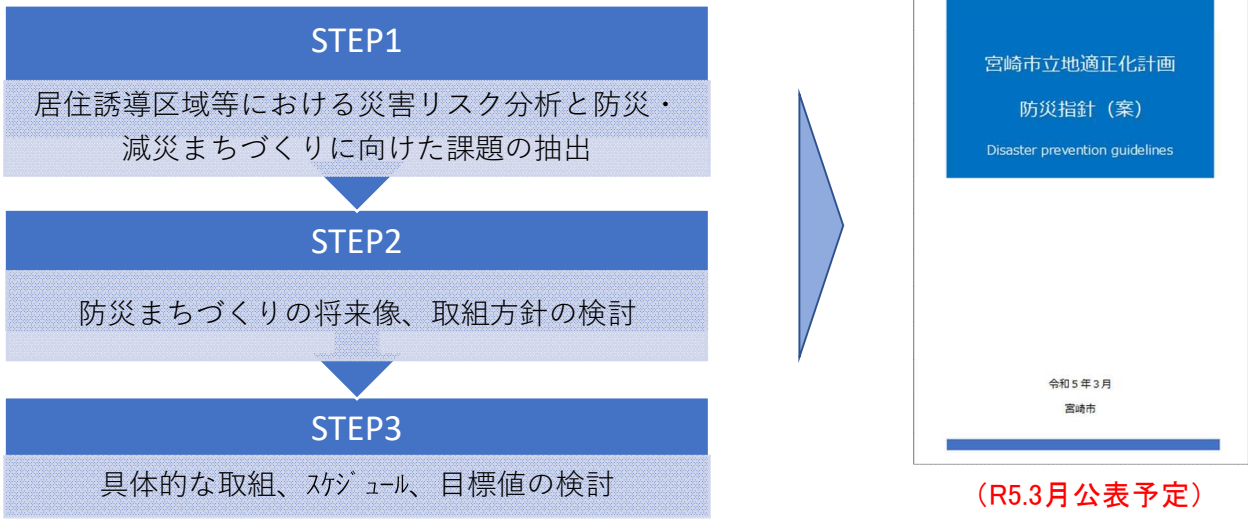
令和4年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎市	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	宮崎市立地適正化計画
	【小項目】対策メニュー	防災指針の追記

【概要】

全国的な近年の激甚・頻発化する大規模自然災害の発生状況を踏まえ、居住を安全確保するための防災・減災対策の取組を推進するため、「都市再生特別措置法」の一部が改正（令和2年9月法施行）されたことを受け、「立地適正化計画」に新たに「防災指針」を追記する。

◀ 防災指針の検討 ▶



宮崎市	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	排水機場の更新

【概要】

○天神排水機場の更新について、実施主体である宮崎県が設計委託業務を発注し、その中で施設の運転管理を行っている地元農業者や、施設管理業務を行っている宮崎県土地改良事業団体連合会などから、現在の施設の問題点等についての意見聴取が行われた。

○二ツ立排水機場の更新について、事業採択に向けた手続き（事業概要公告等）を行った。

令和 4 年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

西都市	【大項目】 区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】 対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】 対策メニュー	ほ場整備の推進



【概要】
 ほ場整備を実施し、水田の区画拡大などを実施する中で、排水ますや排水路を整備し、水田の持つ雨水貯留機能を強化(田んぼダム)する検討ため、ほ場整備事業実行委員会を組織し、事業化に向けて協議を行った。

【目的】
 ほ場整備メニューの内容や事業実施に向けての推進体制の構築。

【効果等】
 水田区画の拡大という面的整備だけでなく、排水路整備や田んぼダムなどの災害予防についての見識を深めることができた。

所属名を記載	【大項目】 区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】 対策内容	
	【小項目】 対策メニュー	

令和4年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

新富町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	災害に強い人づくりの推進
	【小項目】対策メニュー	避難支援要領研修及び実動訓練

○消防団員による車いす避難支援要領研修と避難支援連携要領の実動訓練

消防団員に対し車いす利用者の避難支援実施時の着意事項や車いす取扱要領等に関する研修を実施し、要配慮者利用施設からの利用者避難支援能力の向上と要配慮者避難に対する意識高揚を図った。

研修後は引き続き要配慮者利用施設の避難訓練に参加し、研修で学んだ事項について、知識と技能の定着を図った。今後も、消防団を中核とした地域防災力向上に努める。

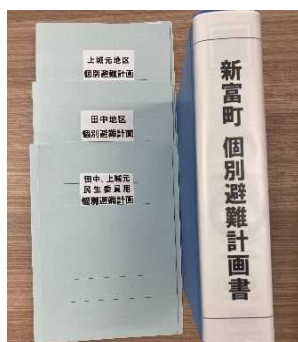


新富町	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
	【小項目】対策メニュー	個別避難計画の作成

○避難行動要支援者の個別避難計画の作成

避難行動要支援者の個別避難計画作成について「新富町個別避難計画作成推進計画」を策定し、令和4年度より個別避難計画の作成に着手した。現在、災害ハイリスク地域に居住する要支援者を優先とした個別避難計画の作成に努めている。

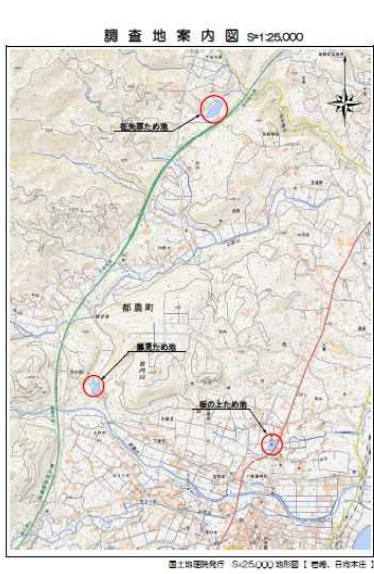
令和5年2月現在で21地区、93名分の計画書を作成し、令和5年度中に災害ハイリスク地域の全要支援者分の計画書の完成を予定。その後、全要支援者の作成へと移行し、災害発生時の「逃げ遅れゼロの町、犠牲者ゼロの町」の実現を目指す。



令和4年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

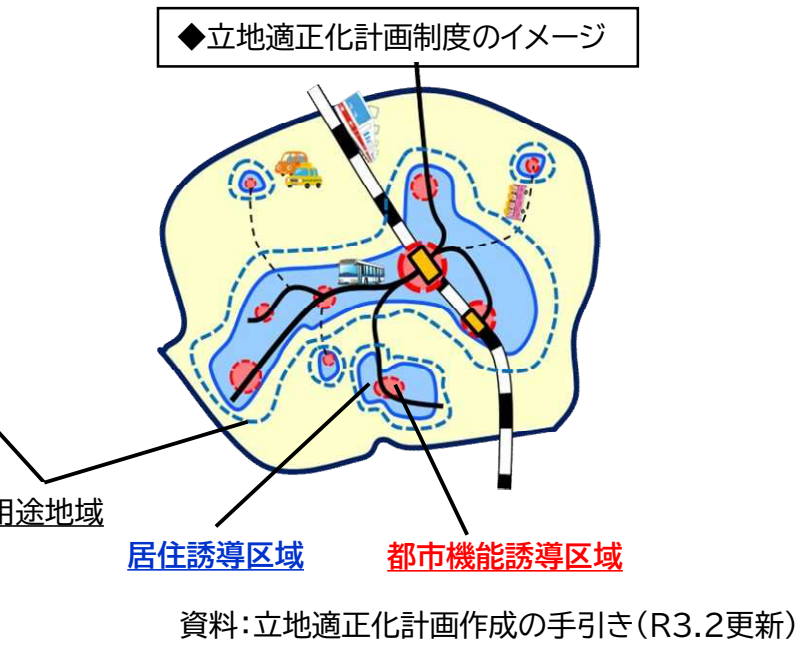
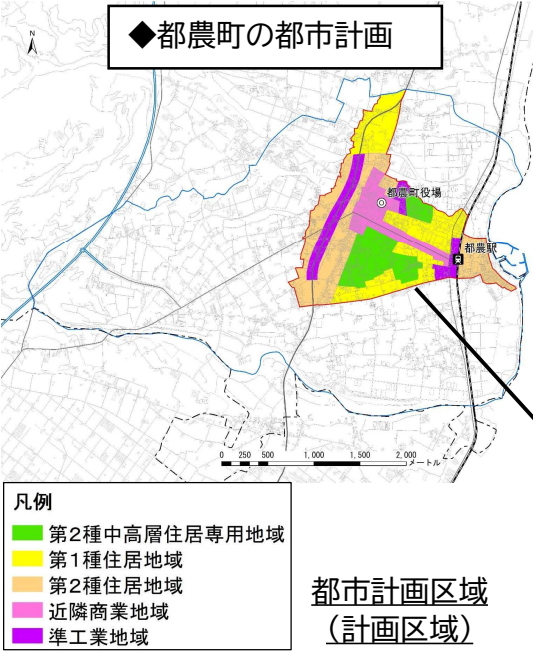
都農町	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	ため池の耐震対策工

ため池耐震診断調査の結果を受け、征矢原ため池と坂の上ため池の2箇所について地盤改良による耐震対策工を実施します。
現在は事業採択に向けた準備を行っており、令和5年度採択申請予定です。



都農町	【大項目】区分	2. 被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	土地利用・住まい方の工夫
	【小項目】対策メニュー	コンパクトシティの形成と中心部への誘導

コンパクトシティ形成に向けた取り組みを推進するために立地適正化計画を策定中です。
まちづくりに関わる様々な関係施策と連携を図り、総合的に検討していきます。



令和 4 年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

西米良村	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	地域における防災学習の実施
	【小項目】対策メニュー	出前講座等を通じ啓発機会を拡充



【概要】

竹原地区では令和3年度に保育園舎が新築され新たな避難所となった事より避難時の確認や日頃の備えについて話し合った。

【目的】

出水期における地域の危険個所を共有する事で避難路の確認や避難時に必要な事を考える。

【効果等】

近年発生した災害状況を見ることにより、近年の災害状況がいつ何処で発生するか分からない事を感じてもらうことができた。

西米良村	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難情報発令の基準化
	【小項目】対策メニュー	タイムラインを活用した実践的な訓練の実施



【概要】

災害時の情報発令や情報収集について訓練を通して再確認する。

【目的】

災害時における避難情報発令のタイミングや避難者の状況把握

【効果等】

各地域での無線電波の確認や避難記録について日頃から訓練する事で災害時のトラブル防止に繋がる。

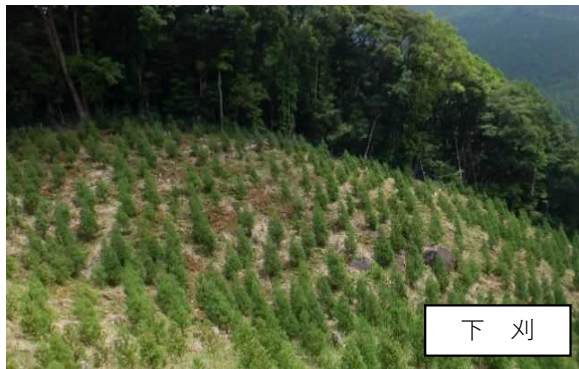
令和 4 年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全、治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】

○森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、引き続き、間伐等の森林整備を実施

R4年度実績			
植付	下刈	除伐	保育間伐等
約26ha	約67ha	約7ha	約206ha



林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全、治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	治山事業

【概要】

○森林の多面的機能の発揮及び豪雨時の土砂流出防止に向けて、治山ダムの設置や山腹工を計画的に実施

R4年度実績	
治山ダム	山腹工
2基	0.86 ha



令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

林野庁 西都児湯森林管理署	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林の整備・保全、治山施設の整備
	【小項目】対策メニュー	森林整備事業

【概要】

○森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向け、引き続き、間伐等の森林整備を実施

R4年度実績		
植付	下刈	保育間伐・除伐
約26ha	約105ha	約131ha



植 付



除 伐

所属名を記載	【大項目】区分	
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和4年度 一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト フォローアップ

森林整備センター	【大項目】区分	1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁殖を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和4年度実績				
植栽	下刈り	除伐	間伐	作業道
47ha	144ha	94ha	68ha	2,315m

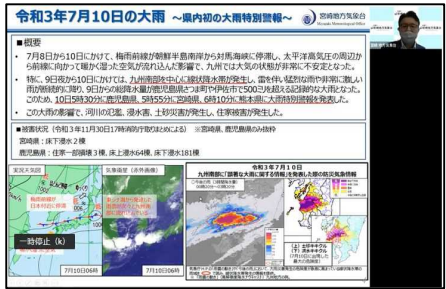


所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和4年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

○ コロナ禍の中、自治体担当者への防災気象情報の利用普及に関する機会が減ったため、理解を深めていただくための取組みとしてオンラインツールを活用した勉強会を月2回程度（出水期を除く）実施している。



- オンラインツールを活用した勉強会は、参加者にとっては移動時間がなく有効に時間を使えるため効果的である。
- 効果的な支援に向けた課題：質問しやすい環境づくりやポイントを絞った説明資料づくり、また、ピクシブ的な内容を盛り込むなどの工夫が必要。



所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

令和 4 年度 その他水系流域治水プロジェクト フォローアップ

宮崎地方気象台	【大項目】区分	3. 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

概要

○ 気象台では、大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼び掛けるほか、台風説明会（報道向け・自治体関係者向け）を実施している。

効果


- 早い段階からの情報提供により、体制判断や避難所の開設判断等に活用できる。
- 危機感や防災意識が高まる。



関係者からは、避難情報の発令や避難所開設の判断を行う上で非常に有益であったと声をいただく一方で・・・

課題

- 予測精度の問題もあるが、
 - ・ 段階的な解説
 - ・ 解説内容の工夫
 - ・ 過去事例の引用



など危機感を高めるためのさらなる改善が必要

所属名を記載	【大項目】区分	プルダウンで選択してください
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	